

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【公開番号】特開 2019-54933 (P2019-54933A)

【公開日】平成 31 年 4 月 11 日 (2019.4.11)

【年通号数】公開・登録公報 2019-014

【出願番号】特願 2017-179912 (P2017-179912)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 22 日 (2020.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、
演出音を出力する制御を行うとともに、特定事象の発生に関連して報知音を継続して出力する制御を行う制御手段を備え、

前記制御手段は、

報知音を出力するときに、報知音の出力を指定する第 1 報知音指定手段と、

報知音を出力するときに、報知音の音量を特定音量とするように音量データを設定するとともに、演出音の音量を特定音量よりも低い音量とするように音量データを設定する第 1 音量設定手段と、

報知音の出力から所定時間が経過するたびに前記特定事象が解除されているか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段により前記特定事象が解除されていないと判定されたときに、報知音の出力を指定する第 2 報知音指定手段と、

前記判定手段により前記特定事象が解除されていないと判定されたときに、報知音の音量を特定音量とするように音量データを再度設定するとともに、演出音の音量を特定音量よりも低い音量とするように音量データを再度設定する第 2 音量設定手段と、を含む、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(1) 遊技を行うことが可能な遊技機 (例えば、遊技機 1 等) であって、
演出音を出力する制御を行うとともに、特定事象の発生に関連して報知音 (例えば、図 4 (d) に示される各報知音等) を継続して出力する制御を行う制御手段 (例えば、演出

制御基板)を備え、

前記制御手段は、

報知音を出力するときに、報知音の出力を指定する第1報知音指定手段(例えば、図6のタイミングT1での報知開始設定、図8のステップS03での報知開始設定等)と、

報知音を出力するときに、報知音の音量を特定音量とするように音量データを設定するとともに、演出音の音量を特定音量よりも低い音量とするように音量データを設定する第1音量設定手段と、

報知音の出力から所定時間が経過するたび(例えば、ステップS07で、タイマTaがタイムアウトになるたびに等)に前記特定事象が解除されているか否かを判定する判定手段(例えば、ステップS08の特定事象解除判定等)と、

前記判定手段により前記特定事象が解除されていないと判定されたとき(例えば、ステップS08で否定判定等)に、報知音の出力を指定する第2報知音指定手段(例えば、図6のタイミングT2、T3での報知開始設定、図8のステップS09での報知開始設定等)と、

前記判定手段により前記特定事象が解除されていないと判定されたときに、報知音の音量を特定音量とするように音量データを再度設定するとともに、演出音の音量を特定音量よりも低い音量とするように音量データを再度設定する第2音量設定手段と、を含む、遊技機。